1. **基礎情報**

下記の質問について、回答を記載し、該当する項目にチェックを入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 質問 | 回答 |
| 主な有機格付品目・有機農業により生産している品目 |  |
| 年間売上高(任意) | (有機・非有機に関わらず事業者の全体の売上高)　　　　　　　　　円 |
| 有機品の輸出状況について(１つを選択) | [ ]  すでに輸出実績がある。[ ]  計画があり、商談中。[ ]  この補助をきっかけに輸出に取り組みたい。[ ]  輸出は考えていない。 |
| 今年度の調査内容(継続認証事業者のみ１つを選択) | [ ]  昨年から認証内容に変更なし。[ ]  昨年から認証規模拡大(ほ場面積・施設の増加等)。[ ]  昨年から認証規模縮小(ほ場・施設の取下げ等)。 |

1. **リモート調査について**

登録認証機関が有機JAS認証事業者に対して行う実地調査は、訪問調査を原則としますが、2回目以降の実地調査について、前回調査の結果を踏まえて訪問調査を要しないと事前に判断されている等の条件が満たされれば、リモートを活用した調査も認めることになりました。



詳しくは農林水産省のHP参照➡問35-7

<https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/attach/pdf/yuuki-233.pdf>

そこで、**すべての事業者に伺います。**下記の質問について、該当する項目にチェックを入れ、質問への回答を記載ください。

|  |
| --- |
| **Q1 リモート調査の条件は、適切だと思いますか。**下記のリモート調査の主な条件、および農林水産省がHPに公表している(問35-7)をご確認のうえ、ご回答ください。（リモート調査の主な条件）・2回目以降の調査で、前回調査の結果や書類審査の結果から訪問調査を要しないと事前に判断されていること。・新規認証、ほ場や施設の追加の場合は、訪問調査を行うこと。・少なくとも４年に１回は、訪問調査を行うこと。 |
| 回答(１つを選択) | [ ]  適切だと思う　　　　　　　　[ ]  やや適切だと思う[ ]  どちらとも言えない[ ]  やや改善が必要だと思う　　　[ ]  改善が必要だと思う |
| 改善点があれば記載してください |  |
| **Q2 リモート調査の条件や実施方法等について、自由にご意見・ご感想をご記入ください。** |
|  |
| **Q3 今回の調査方法について、該当するものを１つ選択してください。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  リモート調査を受けた[ ]  新規・臨時確認、他の認証(海外認証等)と同時審査のため訪問調査を受けた[ ]  通信環境の不備により訪問調査を受けた[ ]  登録認証機関からの求めにより訪問調査を受けた[ ]  自ら希望し、訪問調査を受けた（任意：下欄に理由を記載下さい） |
| 自ら訪問調査を希望した理由 |  |

上記Q3の質問で**、「リモート調査を受けた」と回答した事業者**はお答えください。

|  |
| --- |
| **Q3-１　リモート調査は、初めてですか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  今回が初めて　　　　[ ]  前回もリモート調査を受けた |
| **Q3-2　リモート調査の実施時間は、訪問調査と比べて短くなりましたか。事前準備の時間は除き、お答えください。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  短くなった　　[ ]  ほぼ変わらない　　[ ]  長くなった |
| おおおその調査時間 | リモート調査時の実施時間 | 過去に受けた訪問調査時の実施時間 |
| 約　　　時間 | 約　　時間 |
| **Q3-３ リモート調査の審査費用は、訪問調査と比べて安くなりましたか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  安くなった　　[ ]  ほぼ変わらない　　[ ]  高くなった |
| おおよその審査費用(検査員旅費を除く) | リモート調査の審査費用 | 過去に受けた訪問調査の審査費用 |
| 約　　　　円 | 約　　　　円 |
| **Q3-４ リモート調査を受けて、良かった点を教えてください。** |
| 回答(複数選択可) | [ ]  調査時間が短くなった[ ]  審査費用が安くなった[ ]  調査準備の負担が減った(下欄に具体的な内容を記載してください)[ ]  その他(下欄に具体的な内容を記載してください) |
| 良かった点を記載ください |  |
| **Q3-５ リモート調査を受けて、悪かった点を教えてください。** |
| 回答(複数選択可) | [ ]  調査時間が長くなった[ ]  審査費用が高くなった[ ]  調査準備の負担が増えた(下欄に具体的な内容を記載してください)[ ]  その他(下欄に具体的な内容を記載してください) |
| 悪かった点を記載ください |  |
| **Q3-６ リモート調査を受けて、総合的に負担は減りましたか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  負担が減った　　　　　　[ ]  やや負担が減った[ ]  どちらともいえない[ ]  やや負担が増えた　　　　[ ]  負担が増えた |
| 上記の理由を記載ください |  |

1. **資材リストについて**

登録認証機関が有機JASで使用できる資材と判断した資材(土壌改良資材、肥料、農薬、製造等施設で使用できる有害動植物防除薬剤等)リストを、農林水産省がホームページに一元的に公表しました。有機JAS認証事業者は、有機JASで使用できる資材について、公表された資材を使用する限り、登録認証機関や資材メーカーへの個別の問い合わせが不要となりました。

詳しくは農林水産省のHP参照➡有機農産物のJASに関する資材情報

<https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/yuuki_shizai.html>



そこで、**すべての事業者に伺います。**下記の質問について、該当する項目にチェックを入れ、質問への回答を記載ください。

|  |
| --- |
| **Q4 このような工夫がされていることを、ご存じでしたか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  知っており活用している[ ]  聞いているが見たことがない[ ]  知らなかった |
| **Q5 資材について、自由にご意見・ご感想をご記入ください。** |
|  |

上記Q４の質問で、**「知っており活用している」と回答した事業者**はお答えください。

|  |
| --- |
| **Q5-１ 証明書の入手が不要になったことで、資材の選定の負担が減るなどの効果はありましたか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  負担が減った[ ]  特に変わらない[ ]  運用変更後、新しい資材使用検討をしていない |
| **Q5-２ 現在使用している資材数と、ホームページで公開された資材リストを活用し使用している資材数を教えてください。** |
| 使用している資材数 | 使用している資材数 |  |
| うち資材リストを活用した資材数 |
| 　資材 | 　資材 |

上記Q4の質問で、**「知らなかった」と回答した事業者**はお答えください。

|  |
| --- |
| **Q5-３ ホームページで公開された資材は証明書の入手が不要になりましたが、活用したいと思いますか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  証明書がいらないならぜひ活用し検討したい[ ]  外部から肥料・土壌改良資材は導入していない[ ]  特に今まで通りでよい（下欄に理由を記載してください） |
| 今まで通りでよいと回答した理由 |  |

1. **サンプリング調査について**

有機JAS認証事業者がグループで生産に取り組む場合、調査は全てのほ場を対象にJAS規格適合性を確認するのが原則ですが、生産行程管理者等が全てのほ場でこれを確認している等の条件が満たされれば、ほ場のサンプリング調査も認めることになりました。

詳しくは農林水産省のHP参照➡問35-6

<https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/attach/pdf/yuuki-232.pdf>



そこで、**すべての事業者に伺います。**下記の質問について、該当する項目にチェックを入れ、質問への回答を記載ください。

|  |
| --- |
| **Q6 サンプリング調査の条件は、適切だと思いますか。**下記の主な条件、および農林水産省がHPに公表している(問35-6)をご確認のうえ、ご回答ください。（サンプリング調査の主な条件）1. 生産行程管理責任者又は登録認証機関が指定する講習会を修了した者が、全てのほ場等に対し、定期的（年1回以上）に、使用禁止資材の飛来・流入対策、農産物や肥料等の保管施設における区分管理の状況及び当該ほ場で収穫された農産物の出荷の管理等がグループで認証を受けるために必要な「内部規程」及び「格付規程」に基づき行われているかどうか、ほ場等を直接管理している者それぞれが作成している書類・記録等も用いながら確認の上、これらの結果について記録を付け、生産行程管理責任者が当該結果を把握していること。2. 上記1の確認は、確認対象のほ場等を直接管理する者とは別の者がほ場等を訪問し、適切に管理を行っているかを確認すること。3. 上記1において不適合が認められた場合、原因究明、即時措置（当該不適合者の認証対象からの除外など。）、再発防止策を適切に行い、当該事項について記録を付けていること。4. 上記1～3の生産行程及び格付の管理・把握の実施方法について、規程類に具体的に定めていること。5. 新規／臨時調査の場合は、訪問調査を行うこと。6. 登録認証機関のほ場の訪問確認は10又は圃場数の平方根のいずれか多いほうの数以上のほ場を訪問すること(ほ場数40なら10ほ場以上、ほ場数150なら場なら12以上のほ場を訪問)。 |
| 回答(1つを選択) | [ ]  適切だと思う　　　　　　　　[ ]  やや適切だと思う[ ]  どちらとも言えない[ ]  やや改善が必要だと思う　　　[ ]  改善が必要だと思う |
| 改善できる点があれば記載ください |  |
| **Q7 サンプリング調査の条件や実施方法について、自由にご意見・ご感想をご記入ください。** |
|  |

「有機農産物の生産行程管理者」および「有機飼料の生産行程管理者」の**グループ認証を受けている事業者**はお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有機農家数 | 　　　　　　　　　戸 |
| 有機認証ほ場 合計面積 | 　　　　　　　　　a |
| **Q8 今回の調査は、サンプリングによる調査は実施されましたか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  サンプリング調査を受けた[ ]  新規・臨時確認、他の認証(海外認証等)と同時審査のため全ほ場調査を受けた[ ]  登録認証機関からの求めにより全ほ場調査を受けた[ ]  自ら希望し、全ほ場調査を受けた（任意：下欄に理由を記載下さい） |
| 自ら全ほ場調査を希望した理由 |  |

上記Q8の質問で、**「サンプリング調査を受けた」と回答した事業者**は、お答えください。

|  |
| --- |
| **Q8-1 ほ場について、記載ください。** |
| 有機認証ほ場枚数 | ほ場 合計枚数 |  |
| うちサンプリング調査を実施したほ場枚数 |
| 枚 | 枚 |
| **Q8-２ サンプリング調査の実施時間は、全ほ場調査と比べて短くなりましたか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  短くなった　　　　[ ]  ほぼ変わらない　　　　[ ]  長くなった |
| おおよその調査時間 | サンプリング調査時の調査時間 | 過去に受けた全ほ場検査時の調査時間 |
| 約　　　時間 | 約　　　時間 |
| **Q8-３ サンプリング調査時の審査費用は、全ほ場調査と比べて安くなりましたか。** |
| 回答(1つ選択) | [ ]  安くなった　　[ ]  ほぼ変わらない　　[ ]  高くなった |
| おおよその審査費用(検査員旅費を除く) | サンプリング調査時の審査費用 | 過去に受けた全ほ場調査時の審査費用 |
| 約　　　円 | 約　　　円 |
| **Q8-４ サンプリング調査を受けて、良かった点を教えてください。** |
| 回答(複数選択可) | [ ]  調査時間が短くなった[ ]  審査経費が安くなった[ ]  調査準備の負担が減った（下欄に具体的な内容を記載してください）[ ]  その他（下欄に具体的な内容を記載してください） |
| 良かった点を記載ください |  |
| **Q8-５ サンプリング調査を受けて、悪かった点を教えてください。** |
| 回答(複数選択可) | [ ]  調査時間が長くなった[ ]  審査経費が高くなった[ ]  生産行程管理責任者の負担が増えた[ ]  作成する記録が増えた[ ]  内部規程の見直しの手間が増えた[ ]  調査準備の負担が増えた(下欄に具体的な内容を記載してください)[ ]  その他(下欄に具体的な内容を記載してください) |
| 悪かった点を記載ください |  |
| **Q8-６ サンプリング調査を受けて、総合的に負担は減りましたか。** |
| 回答(1つを選択) | [ ]  負担が減った　　　　　[ ]  やや負担が減った[ ]  どちらともいえない[ ]  やや負担が増えた　　　[ ]  負担が増えた |
| 上記の理由を記載ください |  |

上記Q8の質問で、**「全ほ場調査を受けた」と回答した事業者**は、お答えください。

|  |
| --- |
| **Q8-７ サンプリング調査の概要をご覧になりご意見をください。** |
| 回答(複数選択可) | [ ]  調査時間が短くなるので興味あり[ ]  審査費が安くなりそうなので興味あり[ ]  逆に生産行程管理責任者の負担が増えそうなので従来通りの調査を希望する（下欄に具体的な理由を記載してください)[ ]  その他（下欄に具体的な内容を記載してください） |
| 今まで通りでよい理由など |  |

1. **有機JASの運用改善に向けて**

**すべての事業者**に伺います。

下記の質問について、該当する項目にチェックを入れ、質問への回答を記載ください。

|  |
| --- |
| **Q9 現在、有機JASの認証取得・継続認証にあたり、負担になっていることを教えて下さい。** |
|  |
| **Q10 同等性に基づく輸出のために、農林水産省からどのような支援を期待しますか。** |
|  |
| **Q11 登録認証機関に、どのようなサービス向上を期待しますか。** |
| 回答(複数選択可) | [ ]  認証費用の低減　[ ]  各種申請手続きの簡素化（認証申請、変更届、年次踏査申請など）[ ]  同等性に基づく輸出のための証明書発行対応[ ]  登録認証機関による有機JASで使用できる資材と判断した資材（土壌改良資材、肥料、農薬、製造等施設で使用できる有害動植物防除薬剤等）リストの共有[ ]  その他（下欄に具体的な内容を記載してください） |
| その他記載欄 |  |
| **Q12 本調査票の回答について、農林水産省から詳細等を確認するために連絡することに同意頂けますか。** |
| 回答（1つを選択) | [ ]  同意します　　　[ ]  同意しません |

以上　ご協力ありがとうございました。